

News Release

報道関係者各位

2019年7月26日

株式会社パディ・アジア・パシフィック・ジャパン

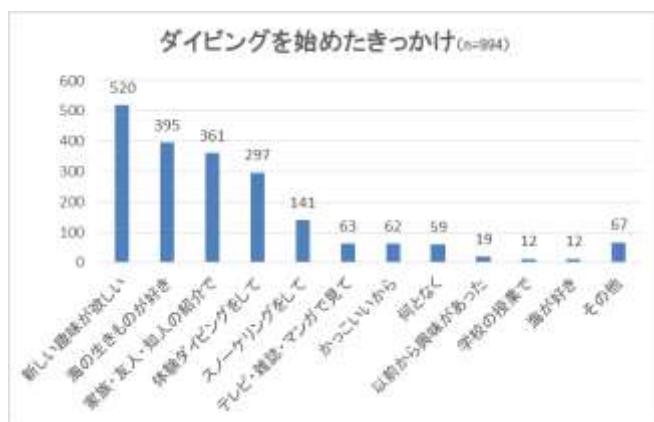
資格取得1年以内のダイバーにアンケート実施 ダイビングを始めたきっかけは「新しい趣味がほしかった」 泳げなくても始めた方が約1割も！

スクーバダイビングの教育機関である株式会社パディ・アジア・パシフィック・ジャパン（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：中野龍男）が2018年度に発行したダイバー認定証（Cカード）取得者を対象に「PADI ダイバー調査アンケート」を実施し、2019年6月24日～7月12日の間に得た994名の有効回答を集計しました。

■きっかけは「新しい趣味がほしい」「海の生きものが好き」

アンケートで「ダイビングを始めたきっかけ」として最も多かったのは、「新しい趣味がほしい」という回答でした。半数以上の回答者が、新たな趣味を求めてダイビングの世界に飛び込んでいます。そのほか「海の生きものが好き」「知人・友人の紹介」という回答が上位を占めました。

スクーバダイビングの魅力は、忙しい日々から離れ、非日常的な音のない水中世界で心穏やかに過ごせることや、人と競わないスポーツであること、ひとりで始められることなどがあり、人気の要因となっています。



■なんと泳げなかつた人が約1割も！ サメが怖かった人もいつしか憧れの対象に変化

新しい挑戦を始める際に、疑問や不安はつきものです。今回のアンケートでは、「ダイビングを始める際に感じた疑問・不安」として、4人に3人が「かかる費用」をあげていました。

また、スクーバダイビングは2人1組の“バディ”を組んで行うレジャーであるため、始める前には「仲間がいない」ことへの不安を感じる人もいますが、まったく問題なくひとりで始められることも魅力のひとつです。



さらに、当アンケートからダイビングを始める前は泳げなかつた人が約1割弱いたこともわかりました。講習で経験豊富なインストラクターから水泳を教わるなどして、Cカード取得時にはフィンありで300m、またはフィンなしで200m泳げるようになるなど、最初は泳げなくても十分にダイビングを楽しむことが可能です。

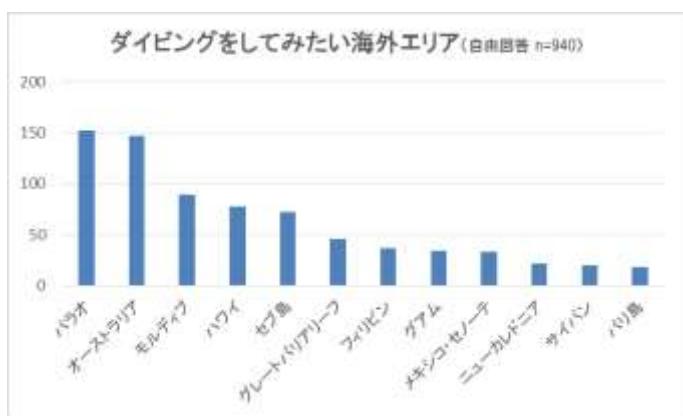
興味深い結果としては、7%の方は当初サメが怖いと感じています。しかし、存在する数百種類のサメのうちほとんどのサメがおとなしくて臆病な性格をしているため、ダイバーが襲われたという事例はほぼありません。逆にサメの見事な流線型を描いた美しい形は、ダイバーにとって憧れの存在へと変わっていきます。

■初心者ダイバー憧れの海外スポットは“天然の水族館”パラオ！

「ダイビングをしてみたい海外エリア」を自由回答で答えてもらったところ、1位はパラオという結果になりました。

パラオは、歴史的には日本が統治した島として有名ですが、ダイバー以外はあまり訪れない島かもしれません。パラオは日本とほぼ同じ経度にあるため、時差ボケなく潜れることが日本人ダイバーに好まれる理由のひとつです。

また、島の周辺はサンゴに囲まれており、大小さまざまの豊富な種類の生き物が集まります。その中でも有名なスポットが「ブルーコーナー」と「ブルーホール」です。特に「ブルーコーナー」は、“天然の水族館”と言われるほど多くの魚群が集まり、「1度潜るとやみつきになる」と世界中のダイバーを魅了しているスポットです。

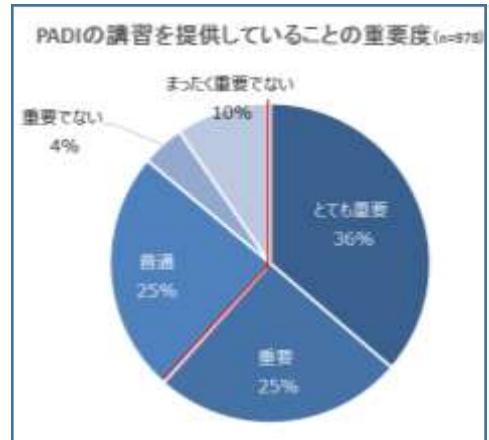


■国内シェア 60%以上を占める PADI の講習への信頼感

ダイビングショップを選んだ際に、「PADI の講習を提供していること」がどのくらい重要かについては、回答者の 6 割以上が「とても重要」「重要」と答えています。

これは、「友人・知人の口コミ」「SNS」「オンライン上のレビュー」などよりも重要度が高く、ダイビングショップ選びにおいて PADI ブランドであることが大きな指標となっていることがうかがえます。

PADI のコースでは、安心してダイビングの世界を楽しんでいただくべく、長年グローバルで培ったカリキュラムで納得のいくまで学んでいただけるシステムを導入しています。当社が国内で発行した認定ダイバー数は 200 万人を超える、国内シェア 60% 以上である実績をもとに、C カード取得後もすべてのダイバーが安全に楽しめるためのサポート体制を整えています。



【調査概要】

期間：2018 年 6 月 24 日～7 月 12 日

対象：2018 年度に全国の PADI でコースを受講し C カードを取得した男女 16,000 名。うち有効回答 994 名。

調査方法：インターネット

■まだ間に合う！今夏シーズンの C カード取得

今夏シーズンの C カード取得はまだ間に合います。

「今すぐダイビングを始めたい！」という方のために、PADI では「まだまだ間に合う！スクーバ・ダイビング入門コース受入可能ショッplist」を用意しました。

海の日である 2019 年 7 月 13 日（土）～9 月 30 日（月）の期間で、PADI オープン・ウォーター・ダイバー・コース、PADI スクーバ・ダイバー・コースの受け入れ可能な日がある PADI 登録店を以下のサイトで確認できます。



<https://www.padi.co.jp/scuba-diving/campaign/entry-course-available/>

■今年は国内 200 万認定を突破した記念の年 感謝のキャンペーン実施中

また今年の 5 月には、当社が国内で発行したダイバー認定証 (Certification Card=C カード) の発行枚数が 200 万枚に達成した記念の年でもあります。

200 万認定達成を記念して、当社ではただ今、「ありがとう！国内 200 万認定キャンペーン」を実施中です。年内に、C カードの再発行、体験ダイビング (DSD)、プロコースを除くすべての PADI コース (EFR 含む) を受講した方の中から 2,000 名様に当社オリジナル賞品が当たります。



URL : <https://www.padi.co.jp/scuba-diving/campaign/2million/>

当社は、これからもワールドワイドなネットワークを活かし、ダイバーの「楽しむ」「学ぶ」「磨く」といったニーズに対するプロフェッショナルなサポート体制を整え、スクーバダイビングの普及促進に努めてまいります。

【会社概要】

社名：株式会社パディ・アジア・パシフィック・ジャパン

代表表：代表取締役社長 中野 龍男

本社所在地：東京都渋谷区恵比寿南 1-20-1

URL : <https://www.padi.co.jp/>

資本金：4,600 万円

従業員数：29 名（2019 年 3 月現在）

事業内容：スクーバダイビングの普及、ダイバーの育成を目的とするスクーバダイビング教育機関

【世界最大のスクーバダイビングの教育機関 PADI(パディ)とは】

PADI は本部をアメリカ・カリフォルニアに置き、日本をはじめ世界に 7ヶ所のエリアオフィスを配し、メンバーハーの C カード (Certification Card=認定証) 発行、教材・商品の開発や店舗運営のビジネスサポートを行っています。世界 186ヶ国で 13 万 3 千人以上のインストラクターを含むプロフェッショナルメンバーと 6,400 以上のダイブセンター/ダイブリゾートからなる世界規模な組織で、世界最大のスクーバダイビング教育機関です。

1966 年設立以来、2,000 万枚以上の C カードを発行しており、全世界で年間約 100 万人のダイバーが、PADI の教育カリキュラムによる認定を受けています。つまりおよそ 30 秒ごとに世界中のどこかで誰かが PADI の認定を受け、その割合は世界中のダイバーの約 60%以上にも及んでいます。

本件に関するお問い合わせ先

パディ・アジア・パシフィック・ジャパン

広報事務局 担当：福士（ふくど）

電話：03-5411-0066 携帯：080-6538-6292

E-mail : pr@netamoto.co.jp

いい仲間、いい出会い

WE ARE PADI



PADI®

PADIの信頼性と質の高さを実現する4つの柱

EDUCATION

世界で最も評価の高いダイビングシステム

- ・ISO国際規格への適合が認められた教育プログラムとショップ規準。
- ・知識やスキルが確実に身につく“達成ベース”的学習システム。
- ・デジタルにも対応した、コースごとに用意された豊富な教材。
- ・講習の質の高さを維持するクオリティ・マネージメント。

COMMUNITY

世界で最も大きく、アクティブなダイバーコミュニティ

- ・1966年の設立以降、PADI認定のダイバー数は2500万人を突破。
- ・日本でのダイバー認定数も200万人を突破！
- ・PADIは世界で最も認知度と人気度の高いダイバー認定です。
- ・ウェブサイトやSNS、メールマガジンで幅広い情報を提供。
- ・国籍や職業も様々なインフルエンサーがダイビングの魅力をアピール。

EXPLORATION

世界中で水中世界への探検をサポート

- ・世界各国にある6,500以上のPADIダイブショップが、ダイビングの旅をサポート。
- ・知識や経験の幅を広げる、バラエティ豊かなコースを用意。
- ・プロフェッショナル・コースやテクニカル・ダイビングへの道も。

CONSERVATION

地球の環境保全のための活動

- ・非営利海洋保護組織Project AWAREとその理念をサポート。
- ・オープン・ウォーター・ダイバー・コースをはじめ、すべてのコース内で環境保護を啓蒙。
- ・海洋保護区の設定やサメ・エイの保護などの活動のリーダーシップ。

PADIダイブセンター／リゾートが皆さんの
安全＆快適なダイビングライフをサポートします！



About PADI



詳しくはこちら

株式会社パディ・アジア・パシフィック・ジャパン

〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南1-20-1 TEL: 03-5721-1731(代表) www.padi.co.jp

PADI

